

屋内型超高精細オーロラビジョン

麻生英樹*
伊尾木一裕*

Super Fine Pitch Diamond Vision for Indoor Type

Hideki Aso, Kazuhiro Ioki

要 旨

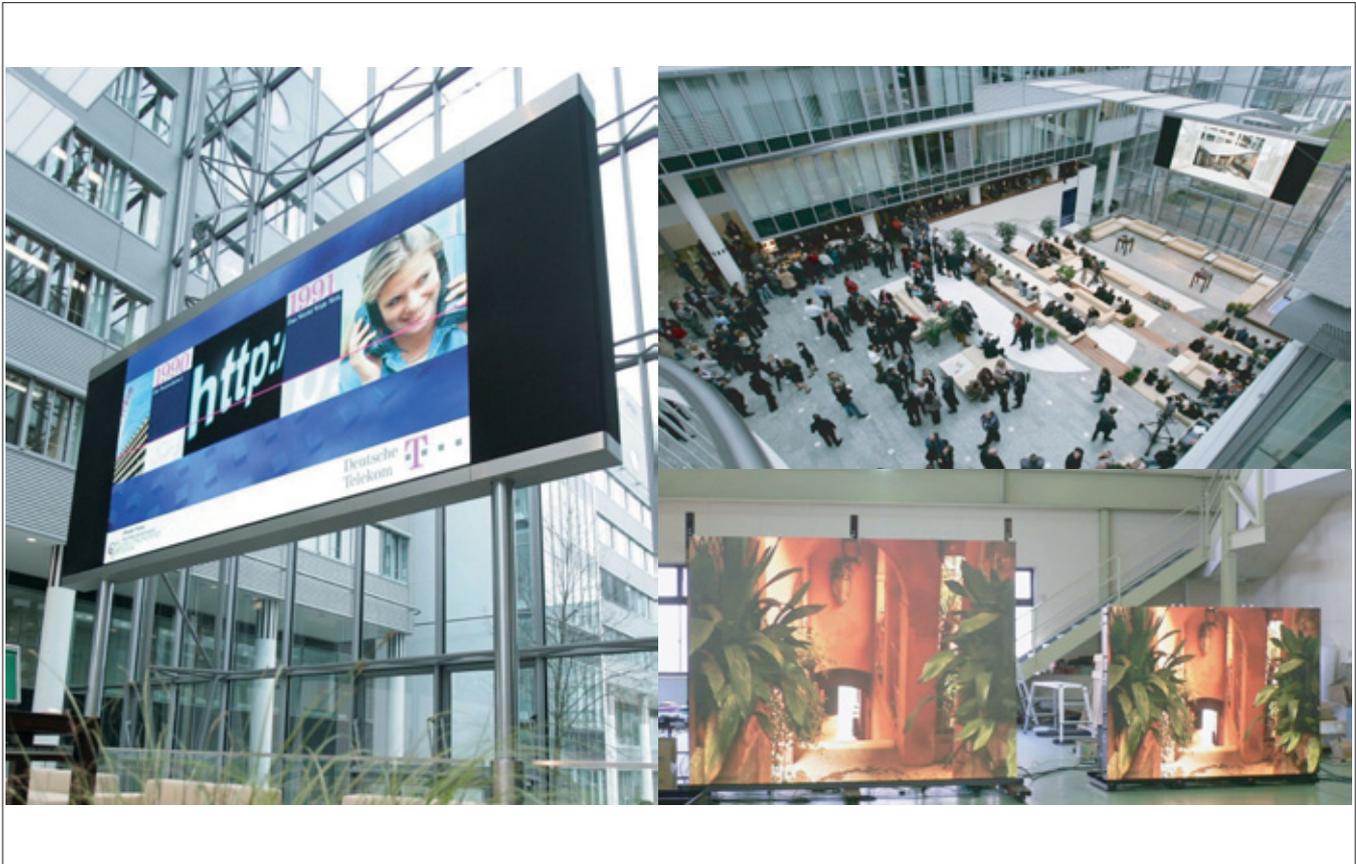
屋内の高精細大画面の市場ではこれまでリアプロジェクト式のマルチビジョンが多く用いられてきたが、ホールや展示会場、放送局内のバックモニタ用といった環境では明るさや視認性に不満があり、明るく鮮明な高精細映像が表示できる大型表示装置が求められている。

このような状況の下、画素ピッチの細かい高精細なLED (Light Emitting Diode)スクリーンが製品化され、市場に進出し始めた。三菱電機では、この市場ニーズに対し、6mm、4mmピクセルピッチの高精細オーロラビジョンを製品化して市場投入を開始しており、今回更に高精細な3mmピクセルピッチを開発し納入した。このスクリーンは、ハイビジョン画素(1,080×1,920ピクセル)を持ち、屋

内高精細LEDスクリーンとしては世界最大級のサイズであり、当社独自の制御、信号処理技術により高画質を実現している。

また、屋内型のイベント用スクリーンの市場でも、軽量薄型、簡単な組立て・解体、サイズの自由度等で高精細なLEDスクリーンのニーズが高い。これに対し、当社は、高精細LEDを用いて、縦横に複数台組み合わせて様々なサイズのスクリーンが構築でき、簡単に素早く組立てが可能なイベント用超高精細オーロラビジョンを開発し納入した。

本稿では、これらの屋内型超高精細オーロラビジョンの特長と概要について述べる。



屋内型超高精細オーロラビジョン

図の左と右上はドイツテレコム社に納入した3mmピクセルピッチ屋内型超高精細オーロラビジョンで、スクリーンサイズは縦3.3×横5.8m。ビル吹き抜けの環境でも明るく鮮明に高画質な映像を提供する。図の右下は6mmピクセルピッチ(写真内左)、3mmピクセルピッチ(写真内右)の屋内イベント用超高精細モジュラ型スクリーンで、縦横に組み合わせて様々なサイズのスクリーンが素早く簡単に構築できる。